

# 公益財団法人フォーリンプレスセンター

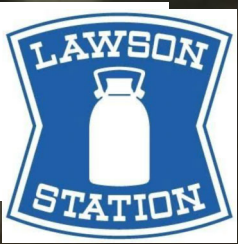
## コンビニ誕生から50年の進化と50年に向けて

消費経済アナリスト 渡辺広明

2024/12/10



コンビニ店長からニュース解説者  
の唯一のキャリア



新本格生デザート揃ってます。



3年半のコンビニの店頭での接客が全ての  
礎

人手不足のバブル期 3店舗掛け持ち店長

# バイヤーや商品開発と天職と出会う



16年間バイヤーを務める



やらまいか  
マーケティング



PROTEIN BAR  
**SIXPACK**  
マルチパック



コンビニの開発商品が8割

様々なカテゴリーのコンビニ「商品開



# 今、渡辺が関わっている商品開発



ローソンクリスマスケーキカタログ  
明日12月10日が注文締め切りです。



やまいか  
マーケティング



マーケットを現場で実感

今でも大手コンビニ3社で半年に1度バイト

**コンビニは、日本国民にとって  
空気や水のように合って当たり前  
スマホと共に無くなると一番不便を感じるもの**



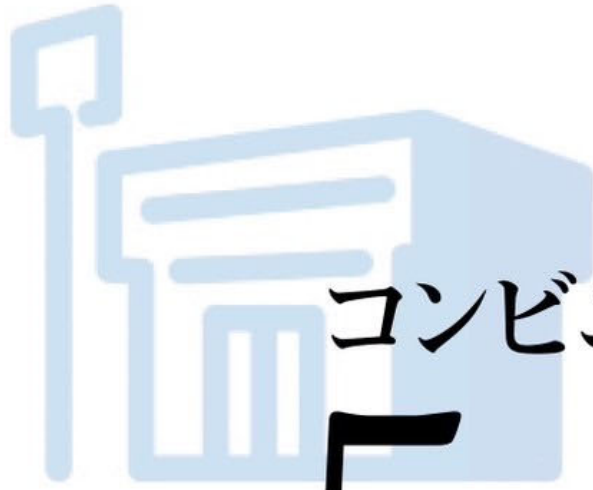


# 161億 8,136万

コンビニの  
年間来店  
総客数は

(一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会2023年のデータ)

1人が年間約130回コンビニで買い物する



コンビニは全国で

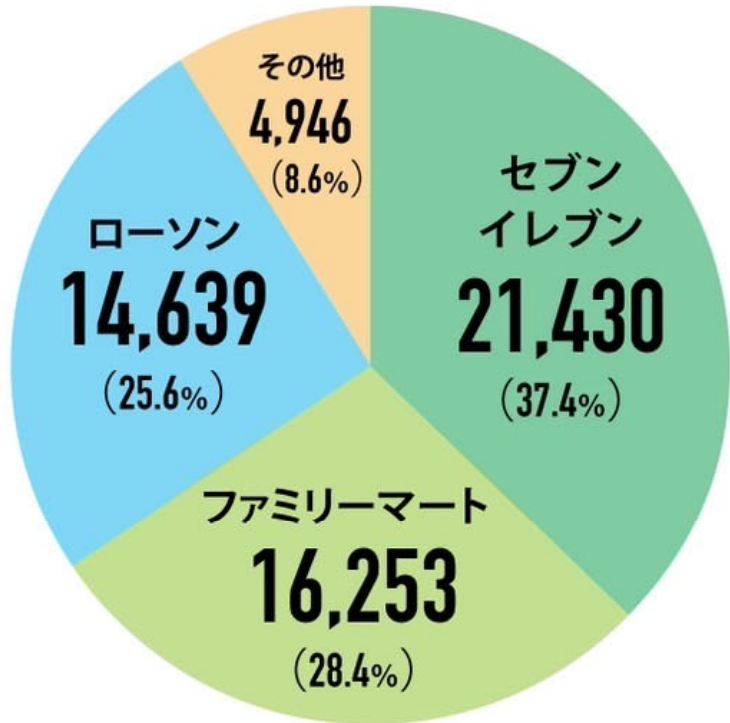
5万7,019店舗

(一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会のデータ)

cf. ▶スーパーは全国2万2,951店舗

1全国47都道府県全てに店舗網がある  
約2,125人に1店舗ある

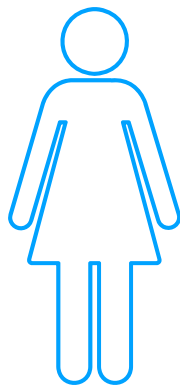
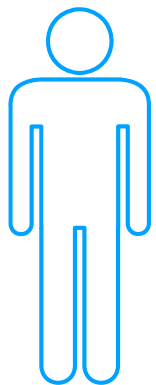
図① コンビニ・チェーン別店舗数と占有率



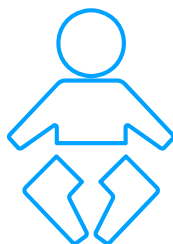
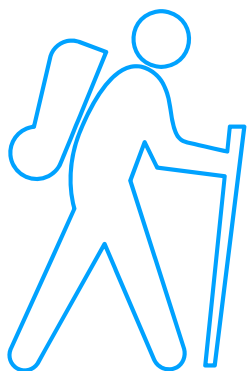
チェーン店	全国統計
セブン-イレブン	21,430
ファミリーマート	16,253
ローソン	14,639
ミニストップ	1,849
デイリーヤマザキ	1,291
セイコーマート	1,193
New Days	613
7チェーン合計	57,268

(日本フランチャイズ協会2024年3月末データ)

大手3社で約91%と寡占しており  
店舗の多様性は無くなっている



**コンビニには全てのレイヤー  
のお客さまが来店する。**



**性別も年齢も財産も国籍も知名度も  
関係なく日本に生活する人  
ほとんど全てが利用する。**

コンビニの売上高は

11兆6,593億円

(一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会2023年のデータ)

コンビニの売上は国民の生活と景気に連動し  
月次の売上発表は、GDPの先行指標として有効

## コンビニエンスストア店舗数・売上高の推移

	1983年	1990年	1995年	2000年	2010年	2015年	2018年	2023年
年間売上高 (兆円)	0.6兆円	2.7兆円	4.8兆円	7兆円	8.5兆円	10.5兆円	11.3兆円	11.7兆円
店舗数	6308店	1万7408店	2万9144店	3万8274店	4万5739店	5万7052店	5万8340店	5万7019店

一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会統計を用いて講師作成

**コンビニは平成に入り一挙に伸びた業態小規模小売業(商店・文具店・書店etc)  
を飲み込んで売上を拡大した。  
人口減により店舗数は減少も売上増は継続**

コンビニは世界最高峰のリアル小売業

コンビニ50周年



# なんでコンビニが日本に？

セブンイレブンがオープンした昭和49年  
中小小売店を保護することを目的とした  
大型店の出店を規制する『大規模小売店舗法』  
(大店法) が施行



総合スーパーが出店規制の危機感からコンビニ

イトーヨーカドー <sup>に参入</sup> ⇒ セブンイレブン  
ダイエー ⇒ ローソン  
西友 ⇒ ファミリーマート  
イオン ⇒ ミニストップ  
ユニー ⇒ サークルK  
長崎屋 ⇒ サンクス

# コンビニはアメリカから持ち込まれた



セブンイレブンの始まりは  
1927年テキサス州ダラスの氷屋



ローソンの始まりは  
1939年オハイオ州アクロンの牛乳屋

筆者撮影

ファミリーマート・ミニストップは、日本独自ブランドで設立

# 日本式コンビニの実質1号店は、セブンイレブン豊洲店



筆者撮影

1974年オープン

# 日本式コンビニの革新

## 創業から昭和末期のバブル期

(1990年まで)

創業～17408店舗

※日本フランチャイズチェーン協会



筆者撮影

- **24時間営業の定着**

- **中食の販売**

おにぎり 弁当 サンドウィッチ おでん etc . . .

- **共同配送による配送車の削減**

メーカー配送からカテゴリー自社配送

# 日本式コンビニの革新

## バブル崩壊から平成不況スタート (1991年~1997年)

19107店舗~33940店舗

※日本フランチャイズチェーン協会

- 収納代行の受付

- キャッシュディスプレイの設置

1991年 ダイエーOMC (ローソン)

- マルチメディア端末の設置

1997年 LOPPI (ローソン) チケット・ゲーム機器 ソフト販売



筆者撮影

# 日本式コンビニの革新

平成不況真っ只中 (1998年) ~ 平成の終わり (2018年)

36265店舗~58340店舗

※日本フランチャイズチェーン協会

- 緊急購買→日常使い
- 客層の変化 若者→シニア
- 生産年齢人口の減少とデフレ定着
- カウンターサービスの増加  
インターネット通販の受取 フリマアプリ対応

**世界最高峰のリアル小売業確立**

# コンビニは25年前にはほぼ完成済



## ■コンビニ業界七大手3社をめぐり主なきこと

- 1973年 ● 埼玉県狭山市にファミリーマート実験1号店設立
- 74年 ● ヨークセブン(現セブンイレブン・ジャパン)設立
- 75年 ● 東京・豊洲にセブンイレブン1号店が出店
- 78年 ● 大阪府豊中市にローソン1号店が出店
- 81年 ● 手巻きおにぎりの販売開始、翌年にはおでんも「株式会社ファミリーマート」発売
- 86年 ● 「からあげくん」発売
- 87年 ● 公共料金(東京電力)の収納代行サービスを開始
- 99年 ● エーエム・ピーエム(現ファミマ)がさくら銀行(現三井住友銀行)のATMを設置
- 2001年 ● アイワイバンク銀行(現セブン銀行)のATMを店内に設置
- 03年 ● 電子マネー「nanaco」スタート
- 07年 ● コンビニ業界が年間売上高で百貨店を抜く
- 08年 ● エーエム・ピーエム・ジャパン (am/pm) を買収
- 09年 ● サークルKやサンックスの運営会社と経営統合
- 16年 ● 全国店舗数が初めて減少(年末時点)
- 19年 ● 世界のセブンイレブン出店数が7万店を突破
- 20年 ● 親会社の伊藤忠商事による株式会社公開買い付け(KDDI)によるファミマは上場廃止

数は、国内全店で161億8136万人(2023年スチーフ協会発表)。私たちにとって、コンビニは一部地域に大規模なチェーンを持つコンビニチェーンがあつた。大半の競争が激化し、統合が進みました。ファミマは2000年に「am/pm」を買収し、約7300店がファミマに統合された。



## 商品の「ワクワク感」も必要

コンビニは50年で成熟した一方、以前に比べると目新しいサービスが登場しなくなり、並ぶ商品も「効率化も大事だけれど、つい買ってしまう『ワクワク感』も取り戻さなければ」それでも、標準的な広さのコンビニには約1年でそのうちお替わり、1週間に約100の新商

# コンビニの平成での変化は？

中食(持ち帰り食品)のレベルアップ

平成はタバコに値上げが4回

売上の4分の1に

※令和も既に5回値上げ 今後も

大手2社商社経営してから

イノベーションは減少



# 日本式コンビニの革新

## 変化対応が大胆に求められる令和のコンビニ

店舗数減少スタート

57019店舗 (2023年)

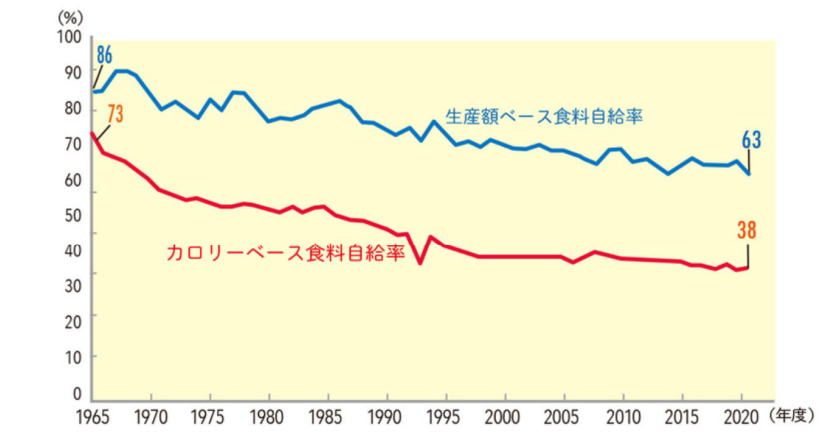
※日本フランチャイズチェーン協会

- 一部店舗から24時間営業の見直し
- 食品ロス削減の値引き販売スタート
- レジ袋有料化からのエコの進化
- 外国人雇用との向き合い
- レジ無人化対応店舗など人手不足対策

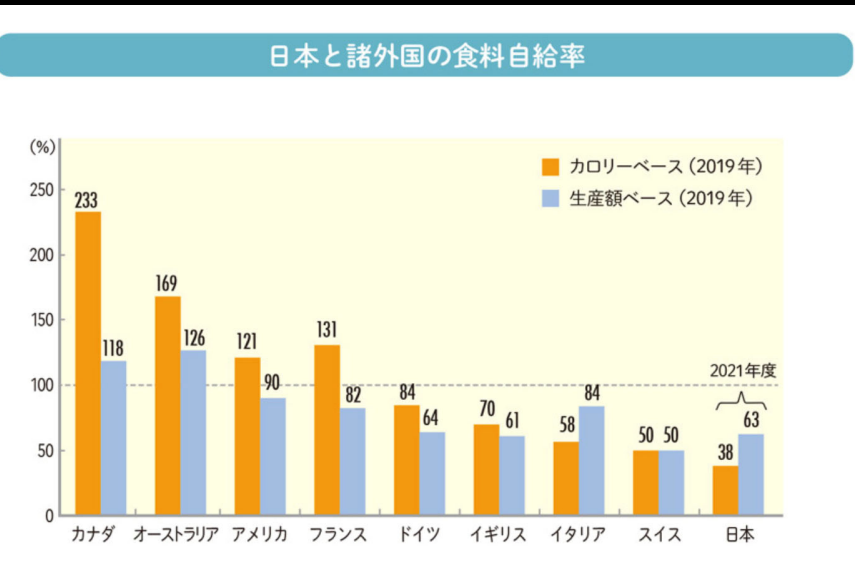
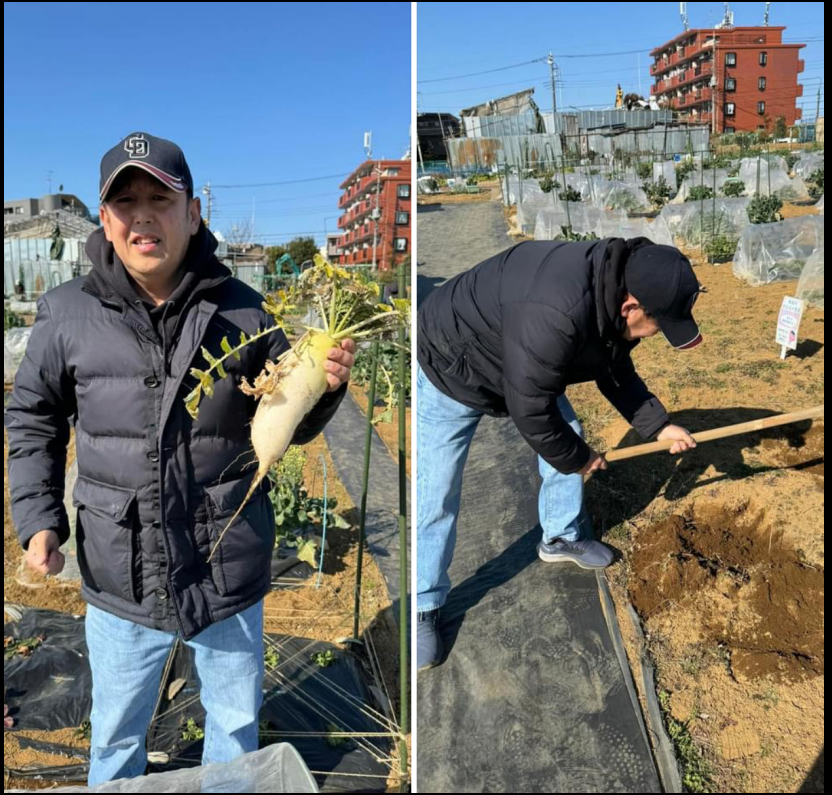
**超便利な店からちょっと不便でも社会課題解決する店へ**

コンビニは日本の今を投影

そんな日本の課題



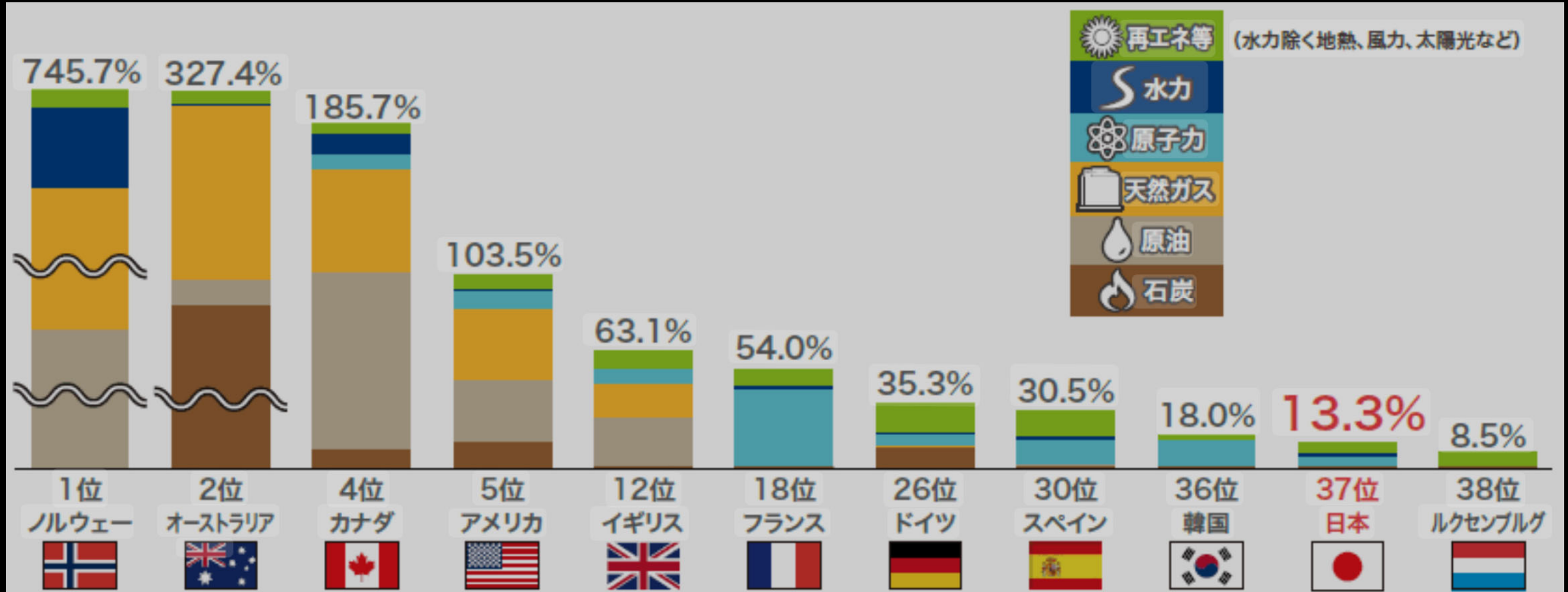
出典：農林水産省「食料自給率の推移」を基に作成。



著書 ニッポン経済の問題を消費者目線で考えてみた

海外飼料除く 畜産物自給率 牛11% 豚6% 鶏9%

種子から肥料まで全て国産の野菜の自給率は10%

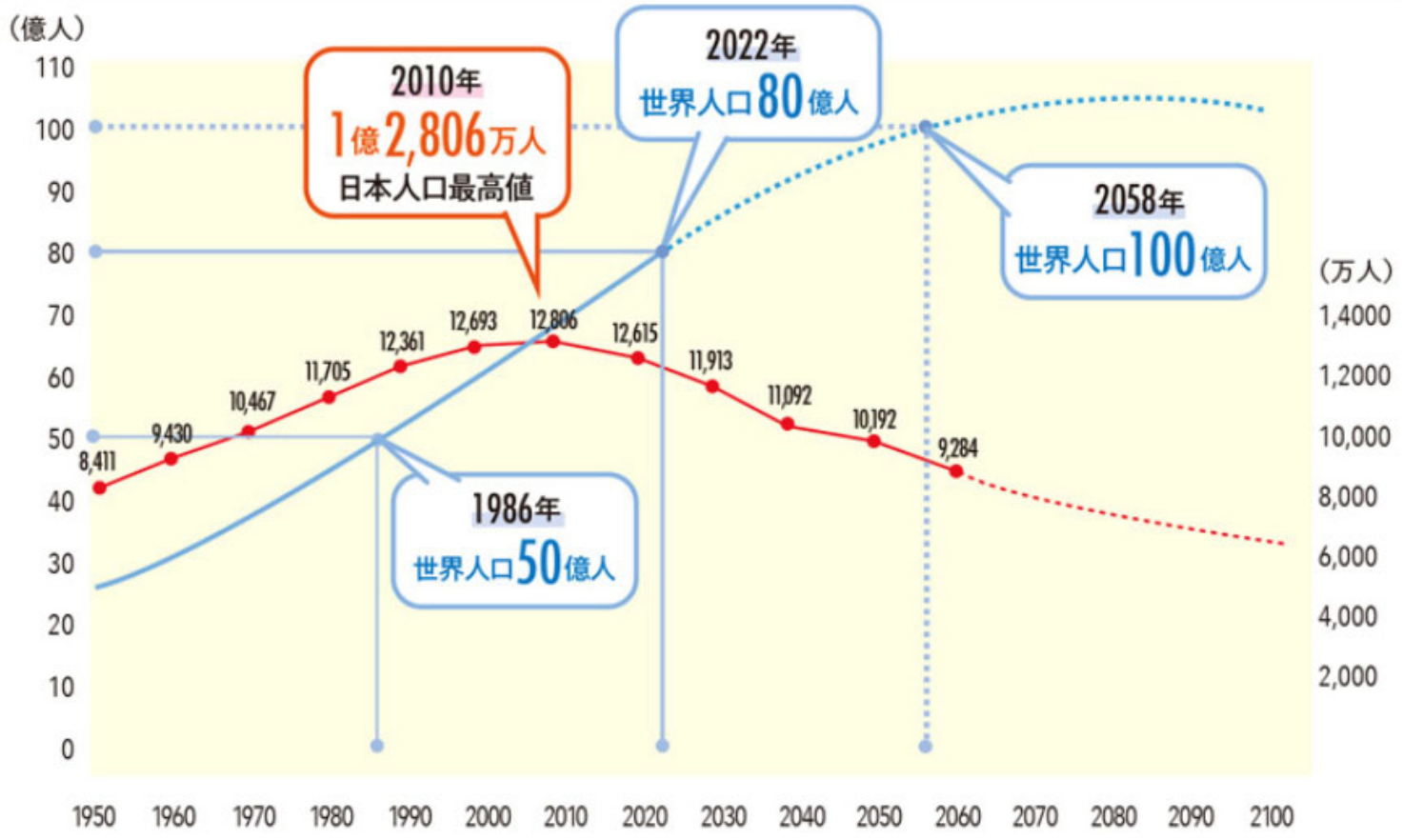


再エネ加速?! 原発再稼働?!

先進国として地球温暖化ともどう向き合うのか?



# 世界の人口推計 & 日本の人口推計



出典：国連人口基金 駐日事務所 (<https://tokyo.unfpa.org/ja/news/wpp2022>) の世界の人口推計に、内閣府『令和4年度高齢社会白書』第1章 高齢化の状況 p.4 の日本の人口推計を重ねて、編集部が作成。

マーケットをどこにする？

日本は人口減、世界は人口増

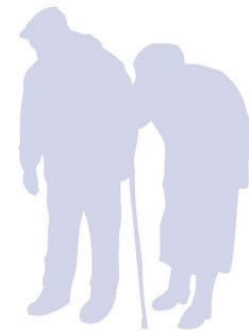
超高齡化に対応必須

# 日本は前人未達の超高齢化社会

日本の  
高齢化率は  
2036年に

**33.3%**

※65歳以上が占める割合(総務省)



セブン-イレブンの来店者は

**50歳以上が**

**37.7%**

(セブン-イレブン調査2024年)



シニアは日常の買い物に  
700m以上歩かない





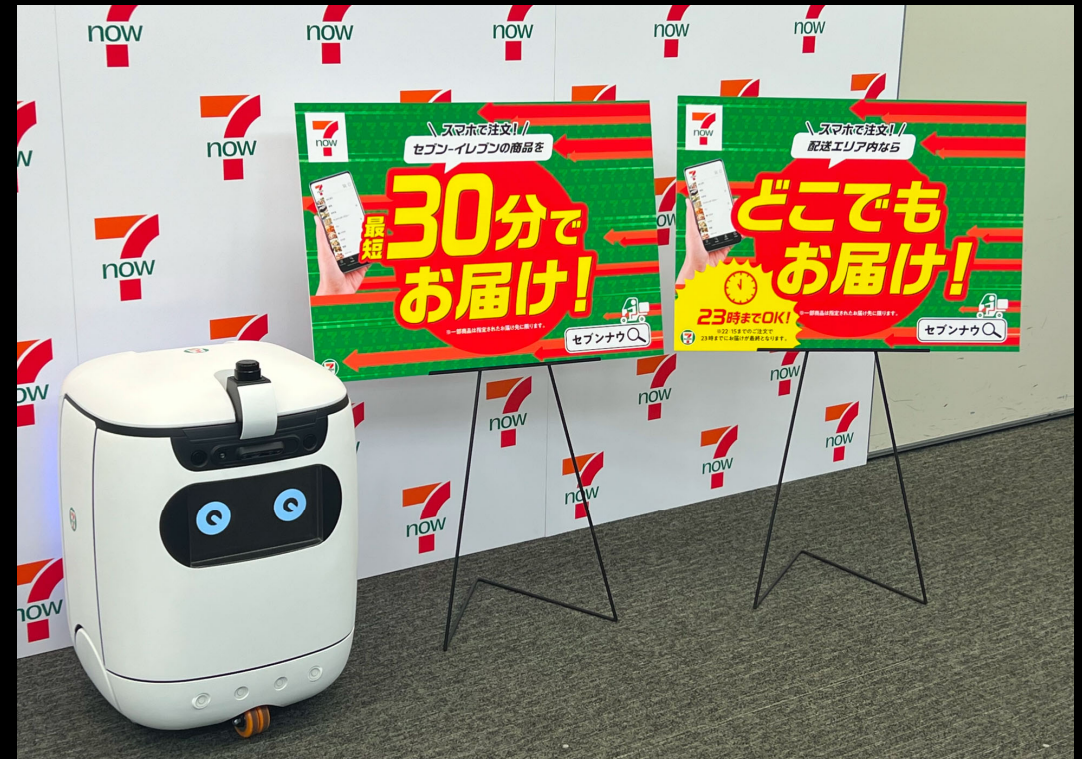
講師撮影

狭小商圈小売業 コンビニと食品ミニスーパー

# マイクロマーケットの店舗がコンビニへ。 会社・学校・工場など



# コンビニはクイックコマースに本格参入



Amazonに対抗出来る唯一のネット通販

# 買い物弱者対応



食料品販売店が直線で500m以上離れていて  
自動車を持っていない人を買い物弱者という。  
移動販売者やウーバーイーツなど外部宅配業者  
と協業する宅配が増えていきそうだ。

# 閉鎖商圈向けの自販機コンビニ



今後は過疎地での対応も検討されている。

今後25年で  
2000万人以上  
日本人がいなくなる

# コンビニの60歳以上アルバイトは全体の約7%

図⑥ 55歳以上の就業状態

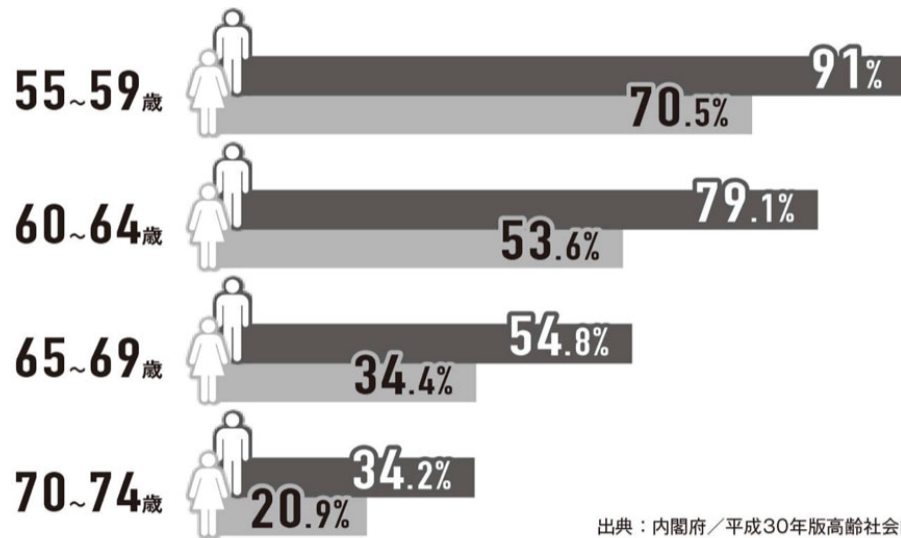
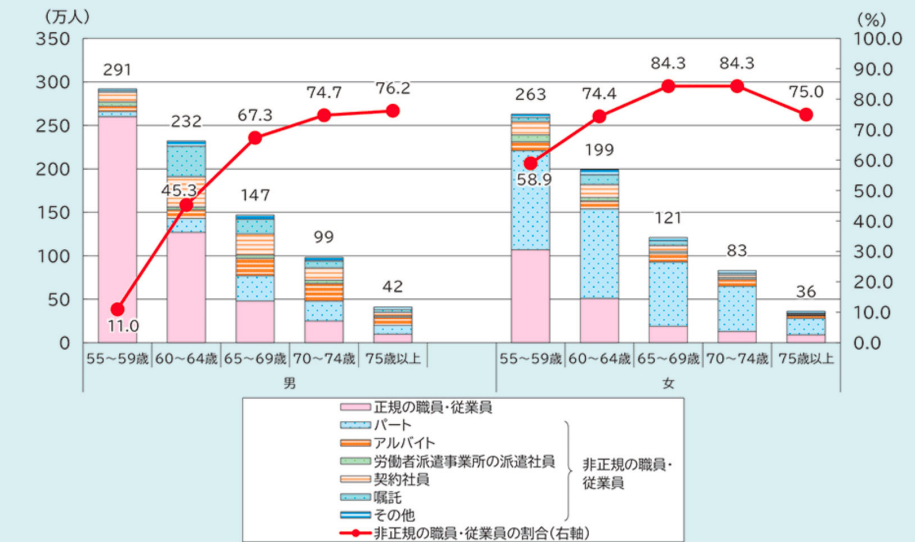


図1-2-1-14 雇用形態別雇用者及び非正規雇用者率（役員を除く。）



コンビニは立ち仕事でオペレーションが多岐に渡る為、シニアアルバイトは新規雇用の離職率は高く、ほとんどが継続雇用となる

# 人口減少による人手不足の加速

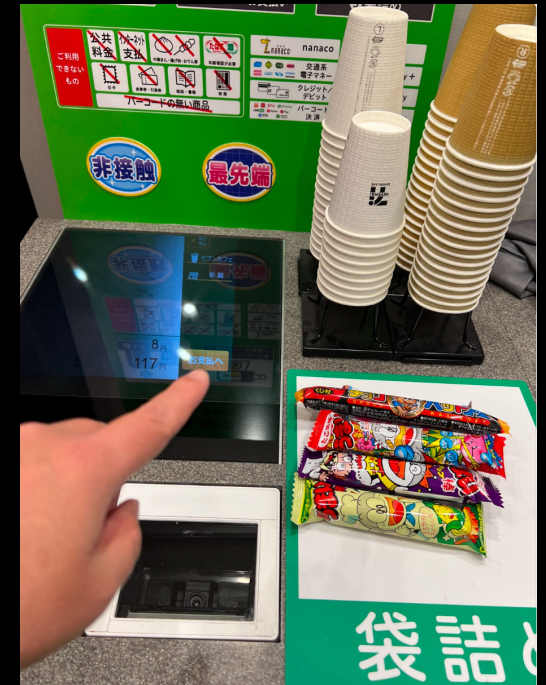


講師撮影

若年層のアルバイト不足により、24時間営業が困難な店舗が増えている。  
。 今後は深夜無人化が進む可能性も。



# 省力化の切り札はセルフレジ



講師撮影

人手不足対策として、大手コンビニはセルフレジの導入を進めている、ローソンは既存レジをお客側に反転させるとセルフレジ対応出来るため全店で導入を完了(2019年)各コンビニの次世代レジの進化に期待



ローソン・セブン実証実験

売上の3分の1強を占める酒・タバコの認証が鍵



酒・タバコがポイント

セルフレジのみ接客 レジ袋お箸の配布なし



ファミマ サブスクで

飲料品出しロボット全国導入で300店舗導入



遠隔での薬剤師の対応



スイーツなど商品説明や外国語対応も

フードドライブ  
食品・状態について

日本のコンビニの素晴らしさは商品

# 売れ筋3000品の品揃えが 1年間に7割入れ替わる



1週間約100品の新商品発売  
年間にすると5000品

日本のコンビニの食品は最強



# ちょっと贅沢な商品が人気



# 冷凍食品の充実



単身や2人世帯のシニアをメインターゲットに1食用の商品開発と売場スペースの拡大を実施。チルド惣菜も同様ターゲットで。  
共働き・未婚者の取り込みも可能

# ローソン店内調理まちかど厨房出来立て



# 個店対応で野菜・果物売場の充実



世田谷区各コンビニは、個店別仕入で各チェーンがシニア顧客を意識して野菜・果物の品揃えを充実している。  
世田谷区はシニア人口18万人、高齢化率20%  
その割に、スーパーも少なくコンビニに野菜・果物ニーズがある。

# インバウンドには定番が人気



海外への講演が増えています



世界最高峰の日本の中食を広州の食の展示会で講演



多くの質問と活発な議論

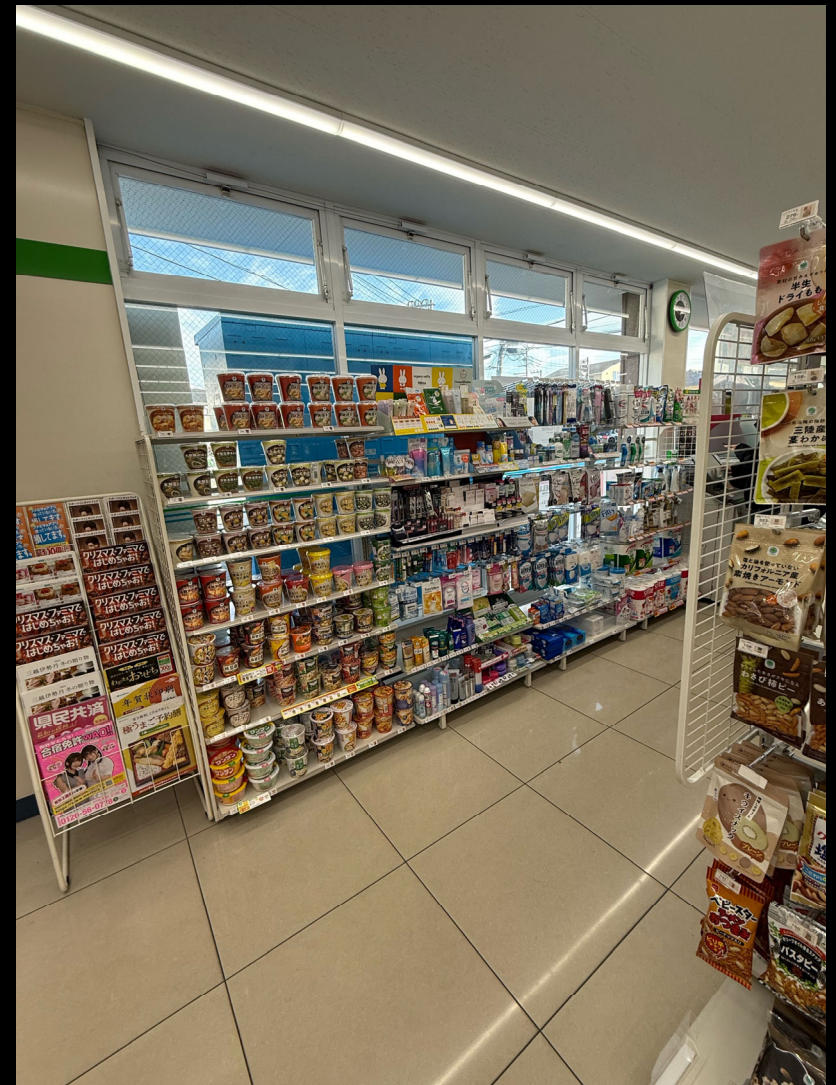
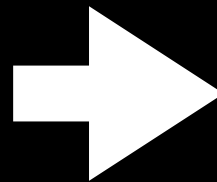
中央アジア カザフスタン・キルギスの食品スーパーのみなさまに講演





# コンビニの今後のサービス

# 2025年3月コンビニ1万店以上から雑誌が消える





1000店舗導入予定

他カテゴリーとの売り場争奪戦

# 調剤と併設するのか？ ドラック併設するのか？



2025年からスマホ活用の薬剤師対応による大衆  
薬販売全店で解禁予定

# セブン&アイ アリマンタシオン・クシュターールが買収 提案



アメリカ約1万2800店が欲しい

※現状アリマンタシオン・クシュターール約7800店

日本は外為法の安全保障カテゴリーの企業に  
生活インフラ・災害時インフラとなる  
コンビニを入れるべき

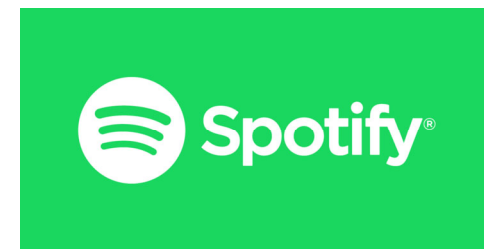
馬淵・渡辺の

# # ビジトピ

Sun. 6:00 - 6:30



毎週30分“ながら聴き”すれば、  
「ビジネスとお金が分かる人」になれるビジトピ



おわり